

平成20年度 明豊中学校

**明豊** 学校だより

○自ら学び 深く考える生徒  
○思いやりの心と 強い意志を持つ生徒  
○健康で明るく 礼儀正しい生徒

## いよいよ、卒業式、修了式の季節になりました

平成20年度も、残すところ、あとわずかとなりました。この1年間、明豊中学校の教育活動に、ご理解とご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様に支えられながら、教職員一同、生徒の健やかな成長のために、力を注ぐことができました。本当に感謝申し上げます。

19日には、中学校生活で最大の儀式である卒業式が挙行されます。卒業生の保護者の皆様の喜びもひとしおでしょう。3年間、明豊中学校で生活した卒業生の皆さん、ここで学んだことを土台として、さらに新しい道に進み、活躍することを願っています。

25日の修了式では、1、2年生が1年間のまとめを行います。そして、4月から明豊中学校を支える立場になることを自覚して下さい。新校6年目を心から託すことができる1、2年生は、卒業生が残してくれた伝統を引き継ぎ、さらに前進させてくれることでしょう。

## 「社会人基礎力」を育成することが課題

今年度の学校経営方針では、目指す学校像として「わかりやすい授業、わかりやすい学校」を、目指す生徒像として「元気で、明るく、さわやかで、素敵な生徒」を掲げ、指導の基本として「確かな学力」「健全育成」「心の教育」「進路指導」「特別支援教育」の5つの柱を立てて、教育活動を展開してきました。そして、先号の学校評価の結果にもありますように、達成できたものと課題として残ったものがあります。特に、課題の中では、社会の中で、多様な人々とともに仕事等を行っていく上で必要な基本的な能力（社会人基礎力）を育成することが重要であると捉えました。そこで、来年度は、①人との関係を作る能力、②課題を見つけ、取り組む能力、③自分をコントロールする能力等を育むことを念頭に置いて、指導を行う方針を立てました。来年度も、よろしくお願いいたします。

### 社会人基礎力

- ①人との関係を作る能力
- ②課題を見つけ、取り組む能力
- ③自分をコントロールする能力

# 来年度から 新学習指導要領の移行措置が始まります

平成24年4月の新学習指導要領完全実施に向けて、来年度から移行措置が始まります。明豊中学校でも、改訂の趣旨を踏まえ、適切に対応してまいります。詳しい内容については、4月の保護者会で説明いたします。

## 中学校学習指導要領改訂について

### 1. 基本的な考え方

- 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成
- 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視
- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

### 2. 教育内容の主な改善事項

- 言語活動の充実           ○理数教育の充実
- 伝統や文化に関する教育の充実   ○道徳教育の充実
- 体験活動の充実       ○外国語教育の充実

### 3. 授業時数の変化（週あたり）

国語	2年	3.0	→	4.0	（24年度から）	英語	1年	3.0	→	4.0	（24年度から）
社会	3年	2.4	→	4.0	（24年度から）		2年	3.0	→	4.0	（24年度から）
数学	1年	3.0	→	4.0	（21年度から）		3年	3.0	→	4.0	（24年度から）
	3年	3.0	→	4.0	（22年度から）	選択	各学年とも、24年度は0時間				
理科	2年	3.0	→	4.0	（22年度から）	総合	1年	年は、24年度は1.4時間			
	3年	2.3	→	3.0	（21年度から）		2・3年	は、24年度は2.0時間			
			→	4.0	（23年度から）	☆選択教科は段階的に減らしていきます					
保体	1年	2.6	→	3.0	（24年度から）						
	2年	2.6	→	3.0	（24年度から）						
	3年	2.6	→	3.0	（24年度から）						

## 平成21年度の移行措置について

1. 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動については、新学習指導要領による
2. 数学…第1学年の年間授業時数が、105時間から140時間に増える
3. 理科…第3学年の年間授業時数が、80時間から105時間に増える
4. 選択教科…第1学年と第3学年の年間授業時数が減る
5. 総合…第1学年の年間授業時数が減る